

九州森林管理局交渉（全国林野関連労働組合九州地方本部九州森林管理局分会）
議 事 要 旨

1 日 時 令和4年12月20日（火）17時20分～18時18分

2 場 所 九州森林管理局内会議室

3 出席者

九州森林管理局	岩井 広樹	総務企画部長
同	岩下 隆徳	総務課長
同	峰 俊之	総務課課長補佐（福利厚生担当）

林野関連労働組合九州地方本部

九州森林管理局分会	中川 秀樹	委員長
同	西山 太英	副委員長
同	内海 康雄	書記長
同	小山 雄平	執行委員
同	後藤 一哉	執行委員
同	藤崎恵莉佳	執行委員

4 交渉概要

（当局）

ただいまより、先般申し入れのあった交渉を開始する。あらかじめ窓口において予備交渉を行い、交渉時間、交渉項目等をやりとりしているので、それに基づき進行をお願いする。

（職員団体）

九州森林管理局の本局における超過勤務時間は、昨年度と比較して増加している状況となっているが、要因はどのように分析しているのか。

（当局）

超過勤務時間の縮減は重要なものと認識しているところである。

そのような中、昨年度と実績を比較すると今年度の超過勤務は増加傾向にあると認識しているところである。

増加している要因としては、災害対応、繰越事業の増加及び人事異動に伴う不慣れな中での事務処理等が考えられるところである。

引き続き、超過勤務の縮減に向けて、職員への目配り、気配り、各職員の業務量の把握、無理無駄のない業務の割振りなどにより、特定の職員に負担がかからないよう工夫するとともに、再任用職員等の活用、事務の見直し、廃止も含めた業務の見直しを行い、業務の平準化に努めてまいりたい。

(職員団体)

年次休暇取得状況が昨年度と比較した場合、日数が減少している状況となっている。これは超過勤務時間の増加により、年次休暇を取得しづらい状況と考えているが、どのように分析しているのか。

(当局)

年次休暇の取得状況と超過勤務時間を分析すると超過勤務時間が増加している課において、年次休暇取得日数が減少している傾向にあると考えられることから、引き続き、定期的に年次休暇の取得状況をチェックし、各課長等に対して、「目配り・気配り」等を行いながら声掛けを行うなど、取得しやすい雰囲気づくりに努めるとともに、管理者に対しても自ら率先して計画的な年次休暇の取得に努めるよう指導を徹底してまいりたい。

(以上)